

福知山市花火大会火災を踏まえた イベント会場等におけるガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

《ガソリンの特性》

- ・ 引火点は -40°C 程度と低く、極めて引火しやすい。
- ・ 揮発しやすく、その蒸気は空気より約3～4倍重いので、滞留しやすく可燃性の雰囲気は広範囲に形成されやすい。
- ・ 電気の不良導体であるため、流動等の際に発生した静電気が蓄積しやすい。

《貯蔵・取扱い時の留意事項》

- ・ ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発する機械器具等を用いない。例えばガソリンを取り扱っている場所から1m離れた場所に置かれた洗濯機で火災に至った事例や、火気や火花がなくても人体に蓄積された静電気で火災に至った事例が報告されており、ガソリンを取り扱う場合は細心の注意を払わないと容易に火災に至る危険性があります。
- ・ 静電気による着火を防止するためには、金属製容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、消火器を必ず準備しましょう。
- ・ ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温部から離れた直射日光の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。特に夏期においてはガソリン温度が上がってガソリン蒸気圧が高くなる可能性があることに留意しましょう。
- ・ 取扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作等、取扱説明書等にかかれた容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう。
- ・ ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。



ガソリンの貯蔵に適した容器の例
(金属製容器であることが必要)



ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
(樹脂製容器は火災危険性が高い)

多数の観客等が参加する行事に対する火気使用の安全管理について

高幡消防組合消防本部

花火大会、夏祭り、秋祭り等で多数の観客等が参加する行事において火災が発生すると被害が甚大となるおそれがあります。このような火災を防ぐために、屋台等で使用されるガソリン等の危険物やプロパンガス等の取り扱いには十分注意して下さい。

ガソリンの危険性

- ・ガソリンは、引火点が -40°C 程度と低くライターや静電気の火花で爆発的に燃焼しますので取り扱う時は**必要な消火準備を行い**十分注意して下さい。

金属容器等の保管時の注意事項

- ・保管する場合は、**火気や高温部から離れた、直射日光の当たらない通気性の良い床面で保管**し、使用の際は開口前の**圧力調整弁の操作等**、取扱説明書に従い、こぼれ、あふれ等がないよう細心の注意を払うこと。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用制限や立入禁止制限等が必要です。

※ 乗用車での運搬については、金属容器で22リットルまでとなっております。また、金属製容器は**性能試験確認を受け、確認済証のマークの付いた物を使用**すること。（図参照）



ガソリン携行缶使用時の注意点

- ・ガソリンは、引火性、発火性の高い危険物ですので、**携行缶の蓋を開ける前に周囲に火気がないことを確認**すると共に、**必ずエア調整ネジを緩め、缶内の圧力を調整**してから蓋を開けること
- ・ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特に**発電機等のエンジン稼働中の給油は絶対行わないこと**。

※ 貯蔵は40リットル未満とし、それ以上になると消防法及び火災予防条例に基づく設備、届出等が必要となります。

火気器具を使用する屋台等の注意事項

- ・屋台等でガスコンロ等を使用する場合は、**万一に備え事前に消火出来る準備（消火器等）**をすると共に、ガス漏れを防ぐため、ゴムホース等の器具との接続部分の点検、適正な長さ、ひび割れ等の劣化がないか使用前に点検すること。

また、プロパンガスボンベを使用する場合は、直射日光の当たらない通気性の良い場所に設置し**転倒防止策**を講じて下さい。

街路市等の火気使用时注意事項チェックリスト

☐ プロパンガスボンベを使用しているか ☐ 直射日光に当たっていないか ☐ 転倒防止措置は取られているか ☐ 通気性のよい場所に設置しているか

☐ コンロ台を使用しているか ☐ 可燃物の上で使用していないか ☐ 上方 100 cm 以内、周囲 20 cm 以内には可燃物はないか ☐ 周囲は整理及び清掃しているか ☐ 風除けは不燃材料を使用しているか（アルミ箔等不燃材料で覆うことも可） ☐ ゴムホースはホースバンド等で締め付けているか ☐ ゴムホースは適正な長さで使用しているか ☐ ゴムホースはひび割れ劣化が無いものを使用しているか ☐ 消火器は準備されているか（発電機を使用している場合も同様） ☐ 消火器がない場合は、水バケツ等は準備されているか ☐ 発電機を使用しているか ☐ 可燃物から離れているか ☐ 風通しがよい場所にあるか ☐ 予備燃料は金属製の携行缶か ☐ 予備燃料は必要最小限か ☐ 携行缶は火気使用器具から離れているか ☐ 携行缶は直射日光が当たらない場所にあるか ☐ 携行缶は通気性のよい場所にあるか

ガソリン等使用时注意事項

☐ 消防法に適合した金属製容器等を使用すること ☐ 使用時タンク等の開口部を開いたまま放置しないこと ☐ 注油時は漏れや溢れが起きないように細心の注意を払うこと ☐ 発電機の稼働中は断じて注油しないこと ☐ 夏場は温度が高いためガソリンの吹きこぼしに気をつけること

シートの使用について（努力目標）

☐ 屋根のシートは防災製品を使用すること ☐ 風除けの幕は防災製品を使用すること